



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場会社名 オプテックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6914 URL <http://www.optex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長兼代表取締役社長 (氏名) 小林 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理統括本部長 (氏名) 東 晃

TEL 077-579-8000

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	18,734	8.8	2,077	21.1	2,295	12.8	1,407	12.2
25年12月期第3四半期	17,226	12.6	1,715	87.9	2,035	95.2	1,253	169.0

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 1,562百万円 (△31.3%) 25年12月期第3四半期 2,275百万円 (231.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	85.03	—
25年12月期第3四半期	75.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	28,728	23,355	76.3
25年12月期	27,532	22,311	76.3

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 21,917百万円 25年12月期 21,008百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年12月期	—	20.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	15.00	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭、創立35周年記念配当 5円00銭

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,700	13.2	2,900	37.5	3,000	14.1	1,850	14.2	111.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	16,984,596 株	25年12月期	16,984,596 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年12月期3Q	435,212 株	25年12月期	434,602 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	16,549,633 株	25年12月期3Q	16,550,857 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料につきましては、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、国内においては4月の消費増税に伴う駆け込み需要の反動による影響がありましたが、政府による一連の経済政策を背景に、円安継続による企業収益の回復、設備投資や雇用情勢の改善など、景気は長期的には緩やかな回復基調を維持しました。

一方、海外におきましては、米国は個人消費に支えられ堅調に推移したものの、中国をはじめとする新興国の成長率鈍化や欧州や中東における地政学的リスクなど、景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、新しい「事業と地域のマトリックス制」組織によりグループの資源を効率よく活用し、事業の枠を超えたソリューションの提案を行うなど販路拡大に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、187億34百万円と前年同期に比べ8.8%の増収となりました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の獲得に加え、為替の円安影響などもあり営業利益は20億77百万円（前年同期比21.1%増）、経常利益は22億95百万円（前年同期比12.8%増）、四半期純利益は14億7百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### ① センシング事業

当社グループの主力事業であるセンシング事業は、売上高131億16百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益13億86百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

防犯関連につきましては、売上高95億13百万円（前年同期比8.5%増）となりました。海外におきましては、欧州及びアジア向けの販売が順調に推移し前年実績を大幅に上回りました。国内におきましては、大型重要施設向けの販売が一巡したため、前年実績を下回りました。

自動ドア関連につきましては、欧州及び北米向けの販売が順調に推移し、国内におきましても消費増税に伴う駆け込み需要の反動減は見られたものの、建築業界の活況に伴い販売が堅調に推移し、売上高31億6百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

#### ② F A事業

F A事業は、海外におきましては、欧州及びアジア向けの販売が順調に推移し、前年実績を上回りました。国内におきましても、物流、電子部品、自動車業界において設備投資が活発に行われたことにより、販売が順調に推移しました。この結果、売上高は38億62百万円（前年同期比14.5%増）となりましたが、プロダクトミックスの変化及び中国合弁会社の本格的な稼働に伴う販管費の増加により、営業利益は1億92百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

#### ③ 生産受託事業

生産受託事業は、受託製品が減少したことにより減収となり、売上高は6億11百万円（前年同期比15.5%減）となりましたが、営業利益は原価率の改善などにより2億21百万円（前年同期比65.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は287億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億95百万円増加しました。

流動資産は195億1百万円となり、6億83百万円増加しました。これは主に原材料及び貯蔵品が2億95百万円、商品及び製品が2億30百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は92億26百万円となり、5億11百万円増加しました。これは主に資金運用に伴う投資有価証券が5億32百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は53億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億51百万円増加しました。これは主に支払いにより未払法人税等が減少したものの、賞与引当金の増加等によって流動負債が82百万円、役員退職慰労引当金の増加等によって固定負債が68百万円それぞれ増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は233億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億43百万円増加しました。これは主に当期純利益の増加により利益剰余金が8億27百万円増加したことに加え、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が81百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年6月13日の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,037	8,245
受取手形及び売掛金	5,118	5,263
有価証券	1,264	1,054
商品及び製品	2,224	2,454
仕掛品	69	77
原材料及び貯蔵品	1,102	1,398
繰延税金資産	474	547
その他	551	484
貸倒引当金	△25	△24
流動資産合計	18,817	19,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,083	1,056
機械装置及び運搬具（純額）	396	391
工具、器具及び備品（純額）	294	344
土地	1,203	1,203
建設仮勘定	36	34
有形固定資産合計	3,014	3,029
無形固定資産		
のれん	808	633
その他	519	624
無形固定資産合計	1,328	1,258
投資その他の資産		
投資有価証券	3,416	3,948
繰延税金資産	598	612
その他	395	428
貸倒引当金	△37	△51
投資その他の資産合計	4,372	4,938
固定資産合計	8,714	9,226
資産合計	27,532	28,728

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,188	1,265
短期借入金	490	519
未払金	575	511
未払法人税等	695	451
繰延税金負債	8	8
賞与引当金	105	276
役員賞与引当金	43	17
その他	548	687
流動負債合計	3,655	3,738
固定負債		
繰延税金負債	129	140
再評価に係る繰延税金負債	26	26
退職給付引当金	901	920
役員退職慰労引当金	492	526
その他	14	19
固定負債合計	1,565	1,633
負債合計	5,220	5,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	3,653	3,653
利益剰余金	14,308	15,135
自己株式	△540	△541
株主資本合計	20,219	21,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175	150
土地再評価差額金	△9	△9
為替換算調整勘定	623	730
その他の包括利益累計額合計	789	871
新株予約権	18	18
少数株主持分	1,284	1,419
純資産合計	22,311	23,355
負債純資産合計	27,532	28,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	17,226	18,734
売上原価	8,228	8,687
売上総利益	8,998	10,047
販売費及び一般管理費	7,282	7,969
営業利益	1,715	2,077
営業外収益		
受取利息	58	69
受取配当金	42	50
持分法による投資利益	6	15
為替差益	186	12
投資事業組合運用益	12	26
受取賃貸料	15	14
保険返戻金	2	9
その他	16	42
営業外収益合計	339	241
営業外費用		
支払利息	2	5
賃貸費用	15	14
その他	2	3
営業外費用合計	20	23
経常利益	2,035	2,295
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	13	-
特別利益合計	15	1
特別損失		
固定資産除却損	1	17
減損損失	1	-
特別損失合計	3	17
税金等調整前四半期純利益	2,047	2,278
法人税、住民税及び事業税	831	877
法人税等調整額	△134	△62
法人税等合計	697	814
少数株主損益調整前四半期純利益	1,350	1,464
少数株主利益	96	57
四半期純利益	1,253	1,407



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,350	1,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	△17
為替換算調整勘定	805	115
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	924	98
四半期包括利益	2,275	1,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,159	1,489
少数株主に係る四半期包括利益	115	73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A 事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,987	3,372	722	16,082	1,144	17,226	—	17,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	1	2,693	2,721	45	2,767	△2,767	—
計	12,014	3,373	3,416	18,803	1,190	19,993	△2,767	17,226
セグメント利益	1,140	221	134	1,495	233	1,729	△13	1,715

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A 事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,116	3,862	611	17,590	1,144	18,734	—	18,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	1	2,990	3,014	44	3,058	△3,058	—
計	13,138	3,864	3,601	20,604	1,188	21,793	△3,058	18,734
セグメント利益	1,386	192	221	1,800	270	2,070	6	2,077

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。